

## ディボーション質問表

16日(日) 先週一週間のディボーションをふり返ってみましょう。

### 17日(月) ヨハネの黙示録 9:1~12

このいなごのような、馬のような怪物たちは人間の兵器か、それとも未知の生物か、または疫病なのかはわかりません。しかし、悪魔の使いたる性質を持ち、いなごの一生と同じ5ヶ月間、人々を苦しめます。ただし、この怪物たちには人を殺すことと、聖徒に危害を加えることは許されません。命を取らないことによって神は人々に機会を与えています。

1. 肉体的な苦しみか来ると、人はどんな気持ちになるでしょう。特に神との関係において。
2. 底知れぬ所の御使いとは誰をさすのでしょうか。考えてみてください。

### 18日(火) ヨハネの黙示録 9:13~21

「大川ユーフラテスのほとり」は言うまでもなく、現在のイラン・イラク地方です。ここはかつてエデンの園が存在した所でもあり、そこで人類に罪が入りました。また最初の政治的支配者ニムロデの登場した所でもあります。世の終わりににはここで四人の御使い、すなわち悪魔が解放され、人類を苦しめます。その時には世界史上、類を見ない軍事的緊張と殺戮が展開されます。

1. 騎兵の乗る「馬」の口からは火と硫黄と煙が出ています。この表現から何か近代兵器を想像できるでしょうか？
2. この時人類の3分の1が死に絶えますが、生き残ってもなぜ人々は悔い改めようとしませんか。あなたも同じような気持ちになった事がありますか。

### 19日(水) ヨハネの黙示録 10:1~11

ここに出てくる御使いは神の裁きを代弁する天使です。虹と共にあらわれ、神の恵みの契約の時代が終わり、ノアの洪水とは違うがそれに匹敵するほどの裁きが来ることを予想させます。水で裁かれるのではないにせよ、ノアの時と同様に終わりの時の裁きも天と地と海とのすべての領域に渡り、何もかもそれからのがれるすべはありません。

1. 「もはや時が延ばされることはない」という宣言がここでなされます。まだこのようにはなっていない今日、あなたはどんなとりなしの祈りをしますか。
2. この小さな巻き物は口には甘く、腹には苦い物です。なぜこのようにヨハネは感じたのでしょうか。

### 20日(木) ヨハネの黙示録 11:1~10

1~2節からまだ異邦人のため、神の恵みによる救いの余地がわずかながら残されていることがわかります。さてソドムは人間の欲望、エジプトは人間の頑固さを象徴しています。終わりの時代には全世界が欲望とかたくなさによって神に敵対するようになります。ここに出てくる二人の預言者は天に引き上げられるという点では「エノクとエリヤ」、その裁きの種類からすれば「モーセとエリヤ」ではないかという二つの説があります。いずれにせよ、この状態にいたっても神はまだ人を救おうとされています。ただし、二人の預言者はエルサレムで処刑されることになります。

1. 二人の預言者は勝利も迫害もこの3年半の間に経験します。あなたは今どんな状態にあると思いますか。勝利ですか。迫害ですか。それともそれ以外でしょうか。
2. 二人の預言者はオリーブの木、また燭台(ろうそくたて)にたとえられています。オリーブや燭台はどんな働きをしていますか。

### 21日(金) ヨハネの黙示録 11:11~19

二人の預言者はキリストのように復活し、天に引き上げられます。そして裁きは次の段階に入り、さらに激しく矢継ぎ早におこります。その最初のしるしはエルサレムでの大地震です。死者は七千人を越えますが、これは神戸の震災を上回る規模です。そして生き残った者たちはやっと神をあかめるようになります。そこで七つ目のラッパが吹かれます。

1. 「この世の国」は複数で「国々」のことです。今までは天においてのみ実現していた神の完全な支配が地上に実現し始めます。ただし今も神の支配が天にはあります。そのことを思うとき、私達の生き方はどう変わるでしょうか。
2. 契約の箱は神の正義の象徴です。今日の不正はその時、すべてあばかれます。あなたは実際にこの裁きを受けないにしても、不正を遠ざけることを神は願っています。今日捨てるべき不正はありませんか。

### 22日(土) ヨハネの黙示録 12:1~9

この女は選ばれた民としてのイスラエル、この子はイエスです。イエスが鉄の杖を持って再来するまで、女であるイスラエルは国全体として他の諸国から激しい攻撃を受けます。しかし、決して滅びることはありません。

1. 竜は複数の頭と複数の角を持っています。これはイスラエルに敵対する国々と考えられます。しかし、この苦しみを通してイスラエルが国家的に神に立ち帰るように祈りましょう。
2. 天の戦いに敗れた悪魔たちは現在、ゲリラ的に地上で抵抗します。しかし、今もすでに彼らは敗残兵であることを覚え、イエスの名によって勝利していきましょう。